

BIEC スキンケアを購入し、 使い続ける価値とは

BIEC の独自性を明確にするには、ユーザーが BIEC を購入し、使い続けることで得られる価値を整理する必要があります。

スキンケアユーザーが求める価値は、肌悩みの有無によって異なります。それぞれのユーザーが求める価値を明らかにすることで、BIEC が目指すスキンケアの本質が見えてきます。

1. 肌悩みのない人が求める価値

肌悩みのない人がスキンケアに求めるのは、今の肌状態をよりよくし、日々の美しさを実感できることです。

- メイクのノリがよくなり、化粧映えする。
- すっぴんでも美しい肌を目指せる。
- 毎日のスキンケアを通じて、肌のよい状態を実感できる。

こうした日々の実感が、BIEC を購入する動機となり、使い続ける理由になります。

2. 肌悩みのある人が求める価値

肌悩みのある人が求めるのは、悩みが改善することに加え、改善した肌状態が持続することです。

- 肌悩みの改善を実感できる。
- 使い続けることで、よりよい肌状態を目指す。
- BIEC を使用していない期間にも、改善した肌状態が維持されることを目指せる。

使っている間だけの一時的な実感にとどまらず、使用していない期間にも価値が続くこと。ここに、BIEC が目指す独自の価値があります。

3. BIEC が目指す価値

BIEC の価値は、単に新しい化粧品を提供することではありません。

肌悩みのない人には、メイクのノリやすっぱんの美しさという、日々実感できる価値を。

肌悩みのある人には、悩みの改善に加え、改善した肌状態が持続することを目指す価値を。

そして、その両方を支えるのが、毎日のスキンケアによって、肌が本来持つ機能を発揮しやすい環境を整えるという考え方です。

BIEC が目指すのは、購入時の期待に応えるだけでなく、使うたびに実感できる価値と、よい肌状態が続く価値を提供することです。

4. 価値を実現する BIEC の設計思想

こうした価値を実現するために、BIEC はスキンケアの設計そのものを見直します。

従来のように成分の選定や配合を中心に考えるのではなく、「成分設計を包含した生体界面環境の設計へ」。

肌に何を与えるかだけでなく、肌とスキンケアが接する環境をどのように設計するか。

その視点から、肌が本来持つ機能を発揮しやすい環境を整え、日々の実感と肌状態の持続につながるスキンケアを目指します。

BIEC による Daily Skin Care の再定義
肌悩みへの対処だけでなく、日々の実感と、よい肌
状態が続くこと。その両方を実現するスキンケアへ。

これが、BIEC による Daily Skin Care の再定義です。

BIEC が変えるのは、化粧品の成分設計だけではなく、
ユーザーが実感する価値と、その価値を生み出すス
キンケアの設計思想です。

※「肌悩みの改善」や「使用していない期間の肌状
態の維持」は、BIEC が目指す価値として記載してい
ます。実際の効果を訴求する際には、製品の特性や
科学的根拠に基づく検証が必要です。